

# コラム 豚の抗酸菌症について

令和元年10月発行 第8号

豚の抗酸菌症は、「**マイコバクテリウム・アビウム**」という細菌の経口感染による慢性増殖性リンパ節炎です。

## 原因

わが国では、敷料として輸入木材の**オガクズ**を使用することにより各地で発生が増加しました。

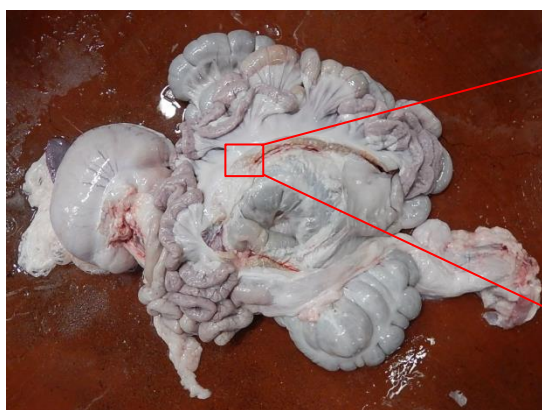
## 症状

ほとんどの症例は臨床症状を示しませんが、まれに全身性の感染から発育不全を示します。

## 病変

感染していても分からないため大部分はと畜検査で発見されます。感染豚の腸間膜リンパ節と下顎リンパ節に病変を形成することが多く、病変は粟粒大から小豆大の黄白色チーズ（乾酪）様結節として認められます。

腸間膜リンパ節に病変が認められた消化管



チーズ様結節（矢印）



## 予防

ワクチンはありません。治療は実用性が低いので、感染豚の発見と豚舎衛生管理が防疫手段の基本となります。オガクズ使用の豚群で高率に発生がみられた場合は、**オガクズの導入先を変える**とよいでしょう。**ヨード系**の消毒薬及び**生石灰**は殺菌効果があります。

山形県庄内食肉衛生検査所（データ還元担当）  
TEL 0234-45-1285 FAX 0234-42-3850